

令和4年度 水道事業会計 予算概要

上下水道部

1 予算の概況

水道事業は、市民生活や産業活動を支える重要なライフラインであることから、安定的かつ持続的な事業経営が求められています。そのために、より一層の経営の効率化を進めるとともに、水道事業ビジョンや経営戦略に基づき、水道施設の適正な維持管理や強靭で安定した施設への更新に取り組みます。

1. 1 収益的収支

(1) 給水戸数及び給水量

給水戸数は、集合住宅の新築等により増加傾向となっている実績を勘案し、微増の見込みとしています。給水量では、給水人口の減少による家庭用での使用水量の減少を見込むとともに、営業用についても実績を勘案し、使用水量の減少を見込んでいます。

(2) 収益及び費用の見込み

収益及び費用の状況につきましては、収益では、水道料金である給水収益や他事業者からの委託を受けて行う給水管工事等に対する受託工事収益、給水装置工事に係る設計審査・工事検査手数料等を計上しています。

給水人口減少による使用水量の減少等に伴う給水収益の減少を見込んだほか、工事件数の減少に伴う受託工事収益の減少を見込み、収益全体では前年度比43,465千円減の2,191,348千円を見込んでいます。

また、費用においては複数の業務や施設管理を包括的に委託する福知山市上水道事業等包括的民間委託に係る委託料のほか、給水管や水道メーターの取替に係る修繕費等を計上し、事業費のうち大きな割合を占める動力費については、原油価格の高騰による影響を見込んでいます。

工事件数の減少に伴う受託工事費(受託工事収益に対応する費用)や減価償却費等の減少により、費用全体では、前年度比49,078千円減の2,165,990千円を見込んでいます。

収益から費用を差し引いた令和4年度の純利益は、前年度比5,613千円増の25,358千円の純利益を見込んでいます。

区分	R4(予算)	R3(予算)	増減	摘要
給水戸数(戸)	36,050	36,000	50	実績を勘案し、微増となる見込み
給水量(m ³)	9,253,000	9,267,000	△ 14,000	実績を勘案し、使用水量の減少を見込み
収益(千円・税抜)	2,191,348	2,234,813	△ 43,465	給水収益や受託工事収益の減少を見込み
(うち給水収益(千円・税抜))	(1,659,190)	(1,661,772)	△ 2,582	家庭用等での使用水量の減少を見込み
費用(千円・税抜)	2,165,990	2,215,068	△ 49,078	受託工事費や減価償却費の減少を見込み
差引(千円・税抜)	25,358	19,745	5,613	前年度比 128.43%

1. 2 資本的収支

(1) 建設改良事業について

堀山第3配水系統配水管などの基幹管路の耐震管への布設替や、測定結果を常時把握するための水質測定所等の設置、避難所につながる夜久野町井田地内の配水支管の耐震管への布設替等により、水道水の安定供給に努めます。

区分	R4(予算)	R3(予算)	増減	摘要
収益(千円・税抜)	1,560,379	1,265,658	294,721	企業債や負担金の増加を見込み
費用(千円・税抜)	2,551,859	2,023,637	528,222	建設改良事業の増加を見込み
差引(千円・税抜)	△ 991,480	△ 757,979	△ 233,501	前年度比 130.81%

2 収益的収支

(税抜 単位:千円)

款	項	目	R4(予算)	R3(予算)	増減	摘要
事業収益	営業収益	給水収益	1,659,190	1,661,772	△ 2,582	家庭用及び営業用での使用水量の減
		受託工事収益	10,622	35,476	△ 24,854	受託工事件数の減(3件→2件)
		その他の営業収益	27,165	28,721	△ 1,556	下水道徴収事務負担金の減
事業収益	営業外収益	受取利息及び配当金	1,224	566	658	有価証券利息の計上
		他会計補助金	123,615	127,876	△ 4,261	旧簡易水道債償還利息等の減少等に伴う一般会計繰入金の減
		長期前受金戻入	352,601	365,273	△ 12,672	償却期間終了に伴う長期前受金戻入益の減
		雑収益	8,898	7,096	1,802	庁舎賃借料の見直しによる増
		特別利益	固定資産売却	8,033	8,033	0 土地売却に係る収益
計			2,191,348	2,234,813	△ 43,465	
事業費用	営業費用	原水及び淨水費	414,088	406,115	7,973	施設修繕・高圧契約電力費等の増
		配水及び給水費	330,403	320,922	9,481	施設修繕・メーターの取替等の増
		受託工事費	12,500	36,511	△ 24,011	受託工事件数の減(3件→2件)
		総係費	158,028	163,758	△ 5,730	人件費や備消品費等の減
		減価償却費	1,088,479	1,110,692	△ 22,213	償却対象資産の減少に伴う減
		資産減耗費他	6,137	6,195	△ 58	固定資産除却費の減
事業費用	営業外費用	支払利息	151,625	165,862	△ 14,237	元利均等償還に伴う企業債利息の減
		雜支出	2,730	3,013	△ 283	不用品売却原価の減
予備費	予備費		2,000	2,000	0	—
計			2,165,990	2,215,068	△ 49,078	
収支差引			25,358	19,745	5,613	

令和4年度当初予算における一事業年度の企業の経営活動に伴って発生する収益的収支の考え方についてでは以下のとおり計上しています。

収益

①	給水収益	・お客様からいただく水道料金です。 ・新年度予算では、給水人口減少による使用水量の減少等を見込んでいます。
②	受託工事収益	・他事業者からの委託を受けて行う給水管工事等に対する負担金です。給水管等の移設負担金及び消火栓設置負担金を計上しています。 ・新年度予算では、受託工事件数の1件減少を見込んでいます。
③	その他営業収益	・水道事業の運営に伴う収益です。材料売却収益、設計審査・工事検査手数料、指定業者手数料、下水道徴収事務負担金を計上しています。 ・新年度予算では、料金の徴収に係る経費の減少による下水道徴収事務負担金単価の減少を見込んでいます。
④	営業外収益	・主に財務活動から得られる収益です。受取利息及び配当金、他会計補助金、長期前受金戻入、賃貸料等を計上しています。 ・新年度予算では、有価証券利息を新たに計上しています。
⑤	特別利益	・経常的な事業活動とは直接関わりのない特別な要因で発生する臨時的な利益です。 ・土地売却収益を計上しています。

費用

①	原水及び浄水費	・水道水をつくるためにかかる経費です。人件費、委託料、修繕費、動力費等が主な費用です。 ・新年度予算では、計画的な施設修繕の増加や、高圧契約電力費の原油価格の高騰による増加を見込んでいます。
②	配水及び給水費	・つくりた水道水を各家庭等に送り届けるためにかかる経費です。人件費、委託料、修繕費、動力費等が主な費用です。 ・新年度予算では、計画的な施設修繕や水道メーターの取替修繕等の増加を見込んでいます。
③	受託工事費	・他事業者からの委託を受けて行う給水管工事等に対する費用です。給水管等の移設費用及び消火栓設置費用が主な費用です。 ・新年度予算では、受託工事件数の1件減少を見込んでいます。
④	総係費	・一般事務経費等です。人件費、委託料、手数料等が主な費用です。 ・新年度予算では、人件費や備消品費等の減少を見込んでいます。
⑤	減価償却費	・管路や水道施設の年間価値減少分です。 ・新年度予算では、償却対象資産の減少を見込んでいます。
⑥	資産減耗費他	・固定資産等の使用によって生じる費用です。固定資産除却費、たな卸資産減耗費、材料売却原価を計上しています。 ・除却予定資産の減少による固定資産除却費の減少を見込んでいます。
⑦	営業外費用・予備費	・企業債利息、漏水減免還付金、予備費を計上しています。 ・新年度予算では、元利均等償還による企業債利息の減少を見込んでいます。

3 資本的収支

(税抜 単位:千円)

款	項	目	R4(予算)	R3(予算)	増減	摘要
資本的収入	企 業 債	企 業 債	1,072,900	821,200	251,700	起債対象事業費の増
	負 担 金	工 事 負 担 金	84,568	51,419	33,149	対象工事の増(6件→8件)
		他会計負担金	11,122	12,787	△ 1,665	消火栓設置に伴う一般会計繰入金の減
	加 入 金	加 入 金	54,514	45,732	8,782	新規等加入件数の増 R4 419件(R3:359件)
	出 資 金	一 般 会 計 出 資 金	219,312	218,401	911	元利均等償還による旧簡易水道債償還 元金の増
	補 助 金	国 府 補 助 金	113,387	111,531	1,856	生活基盤施設耐震化等交付金 (補助率1/3、1/4)の増
		他会計補助金	1,140	1,152	△ 12	児童手当に係る一般会計繰入金の減
	固 定 資 産 売 却 代 金	土 地 売 却 代 金	3,436	3,436	0	売却対象資産に係る土地取得価格相当額
計			1,560,379	1,265,658	294,721	
資本的支出	建設改良費	施 設 拡 張 費	82,959	100,206	△ 17,247	配水設備費 △17,300千円 メーター設備費 +53千円
		施 設 改 良 費	1,220,260	942,448	277,812	原水及び浄水設備費 +85,836千円 配水設備費 +191,976千円
	固 定 資 産 購 入 費	5,103	27,222	△ 22,119	R4:公用車・積算システム用パソコンほか R3:電話交換機・水質分析装置ほか	
	事 務 費	88,318	71,241	17,077	建設改良工事の設計業務に係る 委託料等の増	
	投 資	250,000	0	250,000	国債の取得	
	企業債償還金	企 業 債 債 還 金	905,219	882,520	22,699	元利均等償還に伴う償還元金の増 R4年度末残高見込 10,044,182千円
	計		2,551,859	2,023,637	528,222	
収支差引			△ 991,480	△ 757,979	△ 233,501	
(消費税等資本的収支調整額)			△ 38,879	△ 13,439	△ 25,440	
補てん財源	損 益 勘 定 留 保 資 金		930,359	731,418	198,941	
	減 債 積 立 金		100,000	40,000	60,000	R4年度末残高見込 218,035千円

建設改良のための収支である資本的収支の考え方については以下のとおり計上しています。

収入

① 企業債	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公営企業が施設の建設・改良等に要する資金に充てるために国などから借りるお金です。 ・新年度予算では、起債対象事業費の増加に伴い、借入額の増加を見込んでいます。
② 負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業以外から負担していただくお金です。配水管等の移設負担金、消火栓設置に係る他会計負担金を計上しています。 ・新年度予算では、対象工事の2件増加に伴う工事負担金の増加を見込んでいます。
③ 加入金	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の新築・増改築に伴い、給水装置の新設・変更などのお申し込みの際にいただくお金です。 ・新年度予算では、実績による60件の新規等水道加入件数の増加を見込んでいます。
④ 一般会計出資金	<ul style="list-style-type: none"> ・旧簡易水道の償還元金に係る一般会計からの出資金を計上しています。 ・新年度予算では、元利均等償還による旧簡易水道債償還元金の増加を見込んでいます。
⑤ 補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・国からの補助金(基幹管路耐震管更新・遠隔監視システム整備・重要給水施設配水管耐震管更新)や児童手当に要する経費に対する他会計補助金を計上しています。
⑥ 土地売却代金	<ul style="list-style-type: none"> ・土地売却代金に係る取得原価を計上しています。

支出

① 施設拡張費	<ul style="list-style-type: none"> ・菟原浄水場給水区域ほか水質測定所設置工事や大江町夏間地内連絡管布設工事等に係る費用を計上しています。
② 施設改良費	<ul style="list-style-type: none"> ・堀山第3配水系統配水管布設替工事や市道土師区画本線配水支管移設工事等に係る費用を計上しています。
③ 固定資産購入費	<ul style="list-style-type: none"> ・公用車や積算システム用パソコンの購入費用を計上しています。
④ 事務費	<ul style="list-style-type: none"> ・建設改良に係る一般経費等です。人件費、委託料、賃借料等が主な費用です。 ・新年度予算では、建設改良工事の設計業務に係る委託料等の増加を見込んでいます。
⑤ 投資	<ul style="list-style-type: none"> ・定期預金と比べ受取利息の増加が見込まれることから、国債の取得に要する経費を新たに計上しています。
⑥ 企業債償還金	<ul style="list-style-type: none"> ・企業債の元金償還金を計上しています。

3-1 建設改良費の内訳

(主な建設改良事業)

- (1) 堀山第3配水系統配水管布設替事業(水道管路緊急改善事業、国補助 1/3)
290,000千円(うち補助対象事業費 245,455千円)
- (2) 菅原浄水場給水区域ほか6か所水質測定所等設置事業(遠隔監視システム整備費、国補助 1/4)
69,400千円(うち補助対象事業費 59,590千円)
- (3) 市道旧国道井田線ほか配水支管布設替事業(重要給水施設配水管、国補助 1/4)
28,910千円(うち補助対象事業費 25,455千円)

(税抜 単位:千円)

目	内容	説明	事業費
施設拡張費			82,959
	菅原浄水場給水区域ほか 水質測定所設置工事	1式	51,780
	大江町夏間地内 府道舞鶴福知山線連絡管布設工事	φ150 250m	25,090
	その他配水管布設工事・メーター設置費用		6,089
施設改良費			1,220,260
	(原水及び浄水設備費)		321,980
	芦洲原水調整棟 前処理設備設置工事	1式	178,150
	水内地内 堀山第1系統 送水管布設替工事	φ300 80mほか	80,000
	寺尾草山浄水場ほか 水質測定器設置工事	1式	17,620
	法用地内 国道429号送水管移設工事	SUS75A 260m	9,990
	その他		36,220
	(配水設備費)		898,280
	長田野地内ほか 堀山第3配水系統 配水管布設替工事	φ300～φ400 1,487m	290,000
	土師新町東地内 市道土師区画本線配水支管移設工事	φ200 200mほか	44,960
	南羽合地内 市道羽合室線配水支管布設替工事	φ200 270mほか	43,480
	夜久野町井田地内 国道9号配水支管移設工事(その2)	φ200 432m	30,930
	夜久野町額田地内 国道9号配水支管移設工事	φ75 60m	30,000
	夜久野町井田地内 市道旧国道井田線ほか配水支管布設替工事	φ150 260m	28,910
	篠尾新町地内 弘法川改修工事に伴う配水支管移設工事	φ300 100mほか	26,860
	大江町新町地内 国道175号配水支管布設替工事	φ100 180m	24,680
	夜久野町金尾減圧弁更新工事	1式	22,840
固定資産 購入費	大江町二箇地内 府道舞鶴福知山線配水支管布設替工事	φ150 300m	19,900
	仏谷浄水場系統 監視通信機器更新工事	1式	16,380
	大畠加圧ポンプ所 加圧ポンプ盤更新工事	1式	10,840
	金谷加圧ポンプ所 加圧ポンプ盤更新工事	1式	10,840
	その他		297,660
			5,103
	公用車		2,216
	積算システム用パソコン		1,100
	その他		1,787
			88,318
事務費	人件費(給料、手当等)ほか		66,168
	その他		22,150
投 資			250,000
	国債の取得		250,000
	合計		1,646,640

令和4年度 下水道事業会計 予算概要

上下水道部

1 予算の概況

下水道事業は、重要なライフラインであり、安心・安全で快適な市民生活を持続していくため、老朽化する施設の計画的な更新を進めるとともに、耐震化など防災・減災対策を強化し、強靭で安定した施設を構築するための取組みを進めます。

1.1 収益的収支

(1)処理戸数及び処理水量

処理戸数は、下豊西部の一部統合等を加え、若干増を見込んでいます。

処理水量では、給水量の減少率を加味し、前年度より若干減少で見込んでいます。

(2)収益及び費用の見込み

収益及び費用の状況につきましては、収益では、下水道使用料や雨水処理負担金、督促手数料等を計上しています。

雨水関連経費に伴う一般会計繰入金の増加を見込み、収益全体では、前年度比154,058千円増の3,715,070千円を見込んでいます。

また、費用においては、委託料、修繕費、動力費等を計上しています。特に、過去に建設された施設等の老朽化に伴う修繕費や重油価格の値上がり等による動力費等の維持管理経費の増加により、費用全体では、前年度比158,051千円増の3,529,831千円を見込んでいます。

収益から費用を差し引いた令和4年度の純利益は、前年度比3,993千円減の185,239千円を見込んでいます。

区分	R4(予算)	R3(予算)	増減	摘要
処理戸数(戸)	31,300	31,000	300	下豊西部統合分等の増
処理水量(m ³)	18,483,800	18,500,900	△ 17,100	R4:有収水量12,077,800m ³ 、雨水6,406,000m ³
収益(千円・税抜)	3,715,070	3,561,012	154,058	下豊西部統合による長期前受金戻入の増
(うち下水道使用料(千円・税抜))	(1,724,857)	(1,730,965)	△ 6,108	営業用使用料収入の減
費用(千円・税抜)	3,529,831	3,371,780	158,051	下豊西部統合分の増、維持管理経費の増
差引(千円・税抜)	185,239	189,232	△ 3,993	前年度比△2.11%

1.2 資本的収支

(1)建設改良事業について

下水汚泥有効利用や行積長尾地区の農業集落排水施設の公共下水道への統合などに取り組み、下水道施設の全体最適化による効率的・効果的な運用を図ります。

また、長田野第1・六呂川・土師の各排水区の浸水対策を進めるための実施設計業務や工事に着手し、近年激甚化する豪雨災害等への対策を行います。

さらには、現在、過去に拡張・増強した下水道施設の老朽化が進み、基幹施設の更新や耐震化が喫緊の課題となっている中、終末処理場汚泥処理施設再構築事業を始め、施設や管路の耐震化に取り組むほか、災害時にトイレ機能を確保するためにマンホールトイレの設置工事を行うなど、防災・減災対策の強化に向けて取り組み、災害に強いまちづくりを進めます。

区分	R4(予算)	R3(予算)	増減	摘要
収益(千円・税抜)	2,344,456	1,316,287	1,028,169	企業債や補助金の増加を見込み
費用(千円・税抜)	3,485,734	2,379,518	1,106,216	建設改良事業の増加を見込み
差引(千円・税抜)	△ 1,141,278	△ 1,063,231	△ 78,047	前年度比 107.34%

2 収益の收支

(税抜 単位:千円)

款	項	目	R4(予算)	R3(予算)	増減	摘要
事業収益	営業収益	下水道使用料	1,724,857	1,730,965	△ 6,108	営業用使用料収入の減
		負担金	545,038	506,465	38,573	雨水処理負担金の増 その他負担金の増
		その他営業収益	2,724	3,025	△ 301	督促手数料の減
	営業外収益	受取利息及び配当金	438	210	228	有価証券利息の計上
		他会計負担金	319,650	316,648	3,002	分流式下水道に要する経費及び下水の規制に関する事務経費の増に伴う収入の増
		他会計補助金	60,000	60,000	0	一般会計繰入金
		補助金	4,000	3,000	1,000	防災・安全社会資本整備交付金の増
		長期前受金戻入	1,057,845	939,908	117,937	下豊西部統合分等の増
		雜収益	518	791	△ 273	自販機貸付料、電算リース料等負担金の減
計		3,715,070	3,561,012	154,058		
事業費用	営業費用	管渠費	140,616	133,014	7,602	職員人件費、動力費、工事請負費の増
		ポンプ場費	166,942	166,496	446	修繕費、手数料等の増
		処理場費	805,134	749,515	55,619	動力費、修繕費、手数料、工事請負費の増
		業務費	97,189	99,603	△ 2,414	職員人件費の減
		総係費	68,783	77,325	△ 8,542	備消品費等の減
		減価償却費	1,953,014	1,904,226	48,788	雨水対策関連事業の償却開始に伴う増 下豊西部統合分の増
		資産減耗費	59,054	2,020	57,034	下豊西部処理場工作物撤去による増
	その他営業費用	1,000	1,000	0		下水道用材料費の売却原価
営業外費用	支払利息	213,553	233,981	△ 20,428		企業債支払利息及び一時借入金利息の減
	雜支出	20,546	600	19,946		下豊西部汚水処理場内工作物撤去費用の増
	予備費	予備費	4,000	4,000	0	—
計		3,529,831	3,371,780	158,051		
収支差引		185,239	189,232	△ 3,993		

令和4年度当初予算における一事業年度の企業の経営活動に伴って発生する収益的収支の考え方については以下のとおり計上しています。

収入

① 下水道使用料	・排出した汚水量に応じてお客様に負担していただく料金です。 ・新年度予算では、水道事業の給水量の減少を加味した数値を見込んでいます。
② 負担金	・主に、雨水処理関連費用の繰入金や、し尿投入負担金を計上しています。 ・雨水処理負担金の増加を見込んでいます。
③ その他営業収益	・督促手数料の件数や材料売却収入による収益を計上しています。 ・新年度予算では、督促件数の減少を見込んでいます。
④ 営業外収益	・受取利息、一般会計繰入金、国・府補助金、長期前受金戻入等を計上しています。 ・新年度予算では、有価証券利息を新たに計上しています。

費用

① 管渠費	・汚水や雨水を排水するためのマンホールポンプや下水道管の維持補修に要する経費です。人件費、動力費、修繕費、委託料等が主な費用です。 ・新年度予算では、弘法川排水区・法川排水区の排水路浚渫事業などの事業費増加を見込んでいます。
② ポンプ場費	・各家庭等からの排水を処理場へ送るためにかかる経費です。動力費、修繕費、委託料等が主な費用です。 ・重油価格の高騰による動力費の増加などを見込んでいます。
③ 処理場費	・汚水を浄化するのにかかる経費です。人件費、動力費、修繕費、委託料等が主な費用です。 ・汚泥処理施設脱水機・汚泥処理設備保守点検の増加や処理場で生じた産業廃棄物を処理する手数料なども含み、増加を見込んでいます。
④ 業務費	・排水設備の運営・管理や窓口・電話応対などを含む下水道使用料徴収業務、閉開栓業務等を行う包括的民間委託を含んだ経費です。人件費、委託料、補償金、会費負担金等が主な費用です。 ・職員異動に伴い人件費は減少を見込んでいます。
⑤ 総係費	・一般事務経費等です。 ・人件費、備消品費、委託料、賃借料等が主な費用です。
⑥ 減価償却費	・管路や下水道施設の年間価値減少分です。 ・償却対象資産の増加を見込んでいます。
⑦ 資産減耗費	・固定資産等の使用によって生じる費用です。 ・固定資産除却費、棚卸資産減耗費等を計上しています。
⑧ その他営業費用	・下水道用材料の売却原価を計上しています。
⑨ 営業外費用・予備費	・支払利息、雑支出、予備費を計上しています。 ・新年度予算では、下豊西部汚水処理場内工作物撤去費用を計上したことから増加を見込んでいます。

3 資本的収支

(税抜 単位:千円)

款	項	目	R4(予算)	R3(予算)	増減	摘要
資本的 収入	企 業 債	企 業 債	1,348,800	829,700	519,100	起債対象事業費の増
	負 担 金	他 会 計 負 担 金	83,117	86,139	△ 3,022	企業債償還金の減に伴う負担金の減
	補 助 金	国 府 補 助 金	902,400	358,600	543,800	国庫補助対象事業費の増
	分 担 金 及 び 負 担 金	受 益 者 負 担 金	1,039	999	40	—
		特 環 分 担 金	1,100	1,100	0	—
	工 事 負 担 金	工 事 負 担 金	8,000	39,749	△ 31,749	河川改修工事に係る補償金の減
計			2,344,456	1,316,287	1,028,169	
資本的 支出	建設改良費	管 渠 施 設 拡 張 事 業 費	218,530	126,908	91,622	雨水・汚水管渠事業費の増
		管 渠 施 設 改 良 事 業 費	680,535	459,027	221,508	中部系統管路施設更新工事等の増
		ポンプ場施設 改 良 事 業 費	412,930	264,091	148,839	ストックマネジメント短期計画策定業務、各ポンプ場耐震診断業務費、ポンプ場設備更新工事の増
		処理場施設 改 良 事 業 費	680,404	146,363	534,041	終末処理場耐震診断業務、終末処理場汚泥処理施設再構築事業(継続費)、公共下水道事業計画変更業務の増
		業 務 用 施 設 改 良 事 業 費	1,190	524	666	庁舎1F事務室・倉庫LED交換費の増
		固 定 資 産 購 入 費	15,489	14,619	870	マンホールトイレ上部構造、可搬式排水ポンプほかの増
		事 務 費	186,007	184,431	1,576	六呂川排水区雨水排水路新設工事に伴う用地調査業務等の増
		投 資	50,000	0	50,000	国債の取得
	企 業 債 償 還 金	企 業 債 償 還 金	1,240,649	1,183,555	57,094	R4年度末残高見込 19,373,000千円
計			3,485,734	2,379,518	1,106,216	
収支差引			△ 1,141,278	△ 1,063,231	△ 78,047	
補てん財源	損 益 勘 定 留 保 資 金	761,278	743,231	18,047		
	減 債 積 立 金	380,000	320,000	60,000	R4年度末残高見込 356,638千円	

建設改良のための収支である資本的収支の考え方については以下のとおり計上しています。

収入

① 企業債	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公営企業が施設の建設・改良等に要する資金に充てるためや償還元金に対する減価償却費の不足額を補填するために国などから借りるお金です。 ・起債対象事業費の増加に伴い、借入額の増加を見込んでいます。なお、下水道事業の企業債残高は、建設改良費の増に伴い、1,309,000千円増の19,373,000千円となる見込みです。
② 負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・企業債の元金償還分に対する総務省基準に基づく一般会計からの負担金です。 ・新年度予算では、減少を見込んでいます。
③ 補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金は、大きく3つに分け、地震対策・浸水対策・改築更新工事に係る国からの交付金です。 ・新年度予算では、国庫補助対象事業の増加により、543,800千円増の902,400千円になる見込みです。
④ 分担金及び負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水受益者負担金や特定環境保全公共下水道分担金を計上しています。
⑤ 工事負担金	<ul style="list-style-type: none"> ・府・市などの他事業の実施に伴い、下水道施設の移設等に伴う補償金などです。 ・新年度は、大谷川河川改修工事等に係る補償金等を計上しています。新年度予算は減少の見込みです。

支出

① 施設拡張事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度予算における主な工事として、牧川系統行積長尾統合管路布設工事、土師排水区雨水排水路新設工事を計上しています。
② 施設改良事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度予算における主な工事として、ポンプ場ほか耐震化工事、マンホール鉄蓋更新工事、継続費である終末処理場汚泥処理施設再構築事業を計上しています。
③ 固定資産購入費	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度予算における主な購入は、マンホールトイレの上部構造や可搬式排水ポンプの購入費用を計上しています。
④ 事務費	<ul style="list-style-type: none"> ・建設改良に係る一般経費等です。 ・人件費、用地調査費用等の委託料、公用車の車検修繕費等が主な費用です。新年度予算では、建設改良工事の設計に係る委託料等により増加を見込んでいます。
⑤ 投資	<ul style="list-style-type: none"> ・国債の取得に要する経費を新たに計上しています。 ・定期預金と比べ、受取利息の増加が見込まれます。
⑥ 企業債償還金	<ul style="list-style-type: none"> ・元金償還金を計上しています。

3-1 建設改良費の内訳

主な建設改良事業

- (1) 土汚水中継ポンプ場受変電設備ほか更新工事(国補助 1/2)
115,911千円(うち補助対象事業費115,911千円)
- (2) 福知山終末処理場汚泥処理施設再構築事業(国補助 1/2及び5.5/10)
313,636千円(うち補助対象事業費313,636千円)
- (3) 牧川系統 行積長尾地区統合管路布設工事(国補助 1/2)
72,728千円(うち補助対象事業費 56,364千円)
- (4) 長田野第1排水区 雨水排水施設設計業務(国補助 1/2)
25,000千円(うち補助対象事業費 20,455千円)
- (5) 総合地震対策マンホールトイレ下部設置工事(国補助 1/2)
60,000千円(うち補助対象事業費 54,545千円)

(税抜 単位:千円)

目	内容	説明	事業費
管渠施設 拡張事業費			218,530
	(雨水管渠布設事業費)		141,802
	福知山市公共下水道事業計画変更業務(長田野第1排水区ほか)	治水対策	7,727
	長田野第1排水区雨水排水施設設計業務	治水対策	25,000
	六呂川排水区雨水排水路詳細設計業務	治水対策	9,727
	土師排水区土師新町東雨水排水路新設工事	治水対策	25,093
	六呂川排水区西佳屋野町雨水排水路新設工事	治水対策	31,818
	土師排水区雨水排水路整備工事(愛宕神社周辺浸水対策)	治水対策	7,273
	高田雨水貯留施設周辺整備工事	治水対策	1,364
	土師排水区雨水排水路新設工事に伴う移設補償(上水道)	治水対策	33,800
	(汚水管渠布設事業費)		76,728
	牧川系統 行積長尾地区 統合管路布設工事		62,728
管渠施設 改良事業費	牧川系統 行積長尾地区 統合ポンプ設備工事		10,000
	私道内管きよ布設工事		4,000
			680,535
	(合流管渠改築更新事業費)		51,728
	中部系統4期ほか管路施設更新工事		27,183
	西本町ほか地内 マンホール鉄蓋更新工事		24,545
	(雨水管渠改築更新事業費)		30,910
	福知山市下水道ストックマネジメント計画変更業務(雨水排水路)	治水対策	22,729
	長田野第1排水区雨水排水路周辺整備工事(幹線排水路安全対策)	治水対策	4,545
	長田野4号雨水幹線排水路周辺整備工事(ネットフェンス等)		3,636

(汚水管渠改築更新事業費)		597,897
河東・長田野・西部系統 管路更新ほか実施設計業務		18,182
福知山処理区 不明水本管カメラ調査		10,000
福知山処理区 不明水調査(送煙)業務(日吉ヶ丘)		8,182
福知山処理区 不明水調査(流量)業務 (新庄・庵我・興)		45,455
福知山処理区第2期 マンホール鉄蓋ほか短期計画策定業務		8,091
福知山処理区 管路耐震化実施設計ほか業務		15,455
福知山処理区マンホールポンプ場汚水ポンプほか更新工事実施設計業務		6,000
福知山処理区 マンホールポンプ場汚水ポンプほか更新工事		9,091
福知山処理区 マンホール鉄蓋ほか更新工事 第1期④		179,734
福知山処理区 管路ほか耐震化工事	管渠・水道橋・マンホール	78,109
総合地震対策マンホールトイレ下部設置工事		60,000
長山村ほか地内 マンホール鉄蓋更新工事		3,636
下水道雨水不明水対策工事(長田段・南天田)		18,182
マンホール鉄蓋更新ほか工事(国・府・市他工事関連)	公共	81,358
マンホール鉄蓋更新ほか工事(国・府・市他工事関連)	特環(福知山・三和・大江)	28,278
三和処理区 マンホールポンプ場ポンプほか更新工事実施設計業務		7,527
三和処理区 マンホールポンプ場ポンプほか更新工事		6,545
大江中部処理区 マンホールポンプ場ポンプほか更新工事実施設計業務		7,527
大江中部処理区 マンホールポンプ場ポンプほか更新工事		6,545
ポンプ場施設改良事業費		412,930
(雨水排水ポンプ場改築更新事業費)		104,182
和久市第2ポンプ場 改修工事		45,455
和久市第2ポンプ場 耐震補強工事		58,727
(汚水中継ポンプ場改築更新事業費)		308,748
福知山処理区 汚水中継ポンプ場ほかストックマネジメント短期計画策定業務	機械設備・建築ほか	36,364
興汚水中継ポンプ場汚水ポンプ更新工事実施設計業務		5,200
上松・土汚水中継ポンプ場耐震診断業務		29,091
石本・新庄汚水中継ポンプ場耐震診断業務		27,273
興・かしの木台汚水中継ポンプ場耐震診断業務		24,545
日吉ヶ丘汚水中継ポンプ場耐震診断業務		13,636
興汚水中継ポンプ場汚水ポンプ更新工事		27,273
土汚水中継ポンプ場 受変電設備ほか更新工事		115,911
庵我汚水中継ポンプ場 低圧盤ほか更新工事		29,455

処理場施設 改良事業費			680,404
	(水処理・汚泥処理施設改築更新事業費)		680,404
	終末処理場(雨天排水ポンプ棟ほか)耐震補強実施設計業務		9,091
	終末処理場耐震診断業務	場内場外調査槽ほか	187,091
	福知山市公共下水道事業計画変更業務		11,091
	福知山終末処理場汚泥処理施設再構築事業	(継続費)撤去工事含む	313,636
	福知山終末処理場 直流電源盤更新工事		25,273
	福知山終末処理場 No.2マイクロストレーナ更新工事		32,545
	福知山終末処理場再配置基本構想策定業務		3,636
	福知山処理区 和久市1号圧送管測量業務		4,000
	三和浄化センタースクリーンユニットほか更新工事実施設計業務		6,364
	三和浄化センタースクリーンユニットほか更新工事		23,637
	三和浄化センター No.1塩素触媒装置更新工事		2,727
	三和浄化センター 遠心脱水機改修工事		3,636
	大江中部浄化センター 自家発電機設備更新工事に伴う実施設計業務		6,764
	大江中部浄化センター 作業用電源盤更新工事		1,818
	大江中部浄化センター No.1エアレーション装置現場操作盤更新工事		2,727
	大江中部浄化センター 自家発電機設備更新工事		44,550
	大江中部浄化センター 汚泥処理棟排気ファン改修工事		1,818
業務用施設 改良事業費			1,190
	(業務用施設改良事業費)		1,190
	庁舎1階事務室電灯LED交換		1,190
固定資産 購入費			15,489
	(備品購入費)		15,489
	総合地震対策マンホールトイレ上部構造		8,546
	可搬式排水ポンプほか一式		2,727
	下水道台帳システム機器		1,000
	純水製造装置		1,500
	電気炉		530
	空気清浄機		300
	AutoCADライセンス		586
	ノートパソコン		300
建築事務費			186,007
	人件費(給料、手当等)		170,713
	その他(旅費、備消品費等)		15,294
投資			50,000
	投資有価証券		50,000
合計			2,245,085